グリーン連合
GREEN ALLIANCE Japan

KIKO NETWORK 気候ネットワーク

2020年6月24日（水）
グリーン・ウォッチ2020発刊記念シンポ

グリーン・ウォッチ2019

第1章　脱炭素社会に向けた最近の動向

第１節.　「気候変動」から「気候危機」問題へ

気候ネットワーク　桃井貴子

「気候変動」から「気候危機」へ

1. 気候行動サミットとCOP25
   (1)気候行動サミットと各国の対応
   (2)難航したCOP25
2. 日本政府の遅れた対応と自治体の動き
   (1)密室の議論で「パリ協定長期戦略」が決まる
   (2)石炭で世界から批判される日本
   (3)日本の削減目標の強化に向けた動きは皆無
   (4)自治体のカーボンゼロ宣言と気候非常事態宣言
3. 若者たちの動き

グリーンウォッチ2020の論点(政府の白書と違う点)

・日本の気候変動政策がいかに国際社会の中で批判されてきたか

・石炭火力に対する国際社会の批判がいかに大きくなってきているか

- 国連事務総長も「石炭中毒」と指摘
- 市民社会からの痛烈な日本批判

・長期戦略がいかに密室の議論で策定されてしまったか

2018年に気候変動の影響を最も受けた国ランキング

KIKO NETWORK 気候ネットワーク

GERMANWATCH

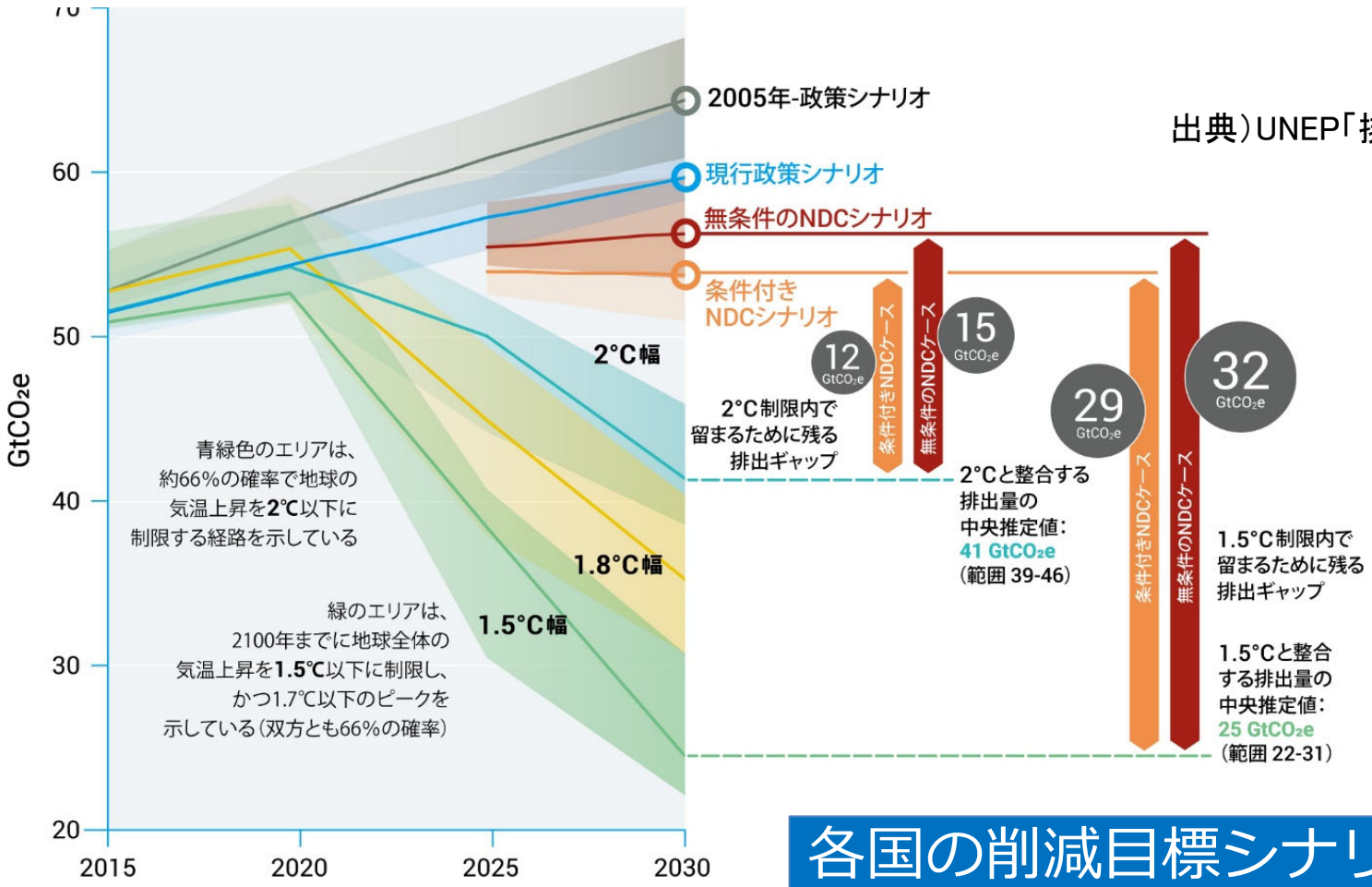
Climate Risk Index 2020

Ranking 2018 (2017)	Country	CRI score	Death toll	Deaths per 100 000 inhabitants	Absolute losses (in million US$ PPP)	Losses per unit GDP in %	Human Development Index 2018 Ranking
1 (36)	Japan	5.50	1 282	1.01	35 839.34	0.64	19
2 (20)	Philippines	11.17	455	0.43	4 547.27	0.48	113
3 (40)	Germany	13.83	1 246	1.50	5 038.62	0.12	5
4 (7)	Madagascar	15.83	72	0.27	568.10	1.32	161
5 (14)	India	18.17	2 081	0.16	37 807.82	0.36	130
6 (2)	Sri Lanka	19.00	38	0.18	3 626.72	1.24	76
7 (45)	Kenya	19.67	113	0.24	708.39	0.40	142
8 (87)	Rwanda	21.17	88	0.73	93.21	0.34	158
9 (42)	Canada	21.83	103	0.28	2 282.17	0.12	12
10 (96)	Fiji	22.50	8	0.90	118.61	1.14	92

The Global Climate Risk Index for 2018: the 10 most affected countries

www.germanwatch.org/en/cri

広がる排出ギャップ

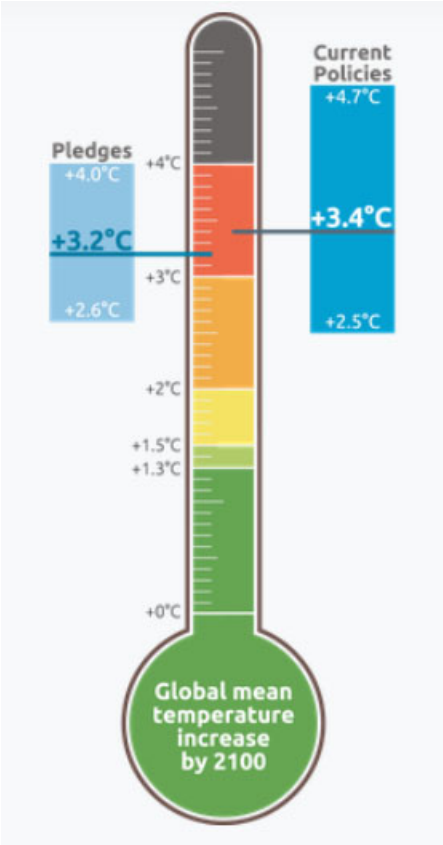


出典）UNEP「排出ギャップ報告書2019」
（IGES日本語版より）

各国の削減目標シナリオと
1.5℃目標に必要な削減のギャップ

2030年　**320億トン**/CO2

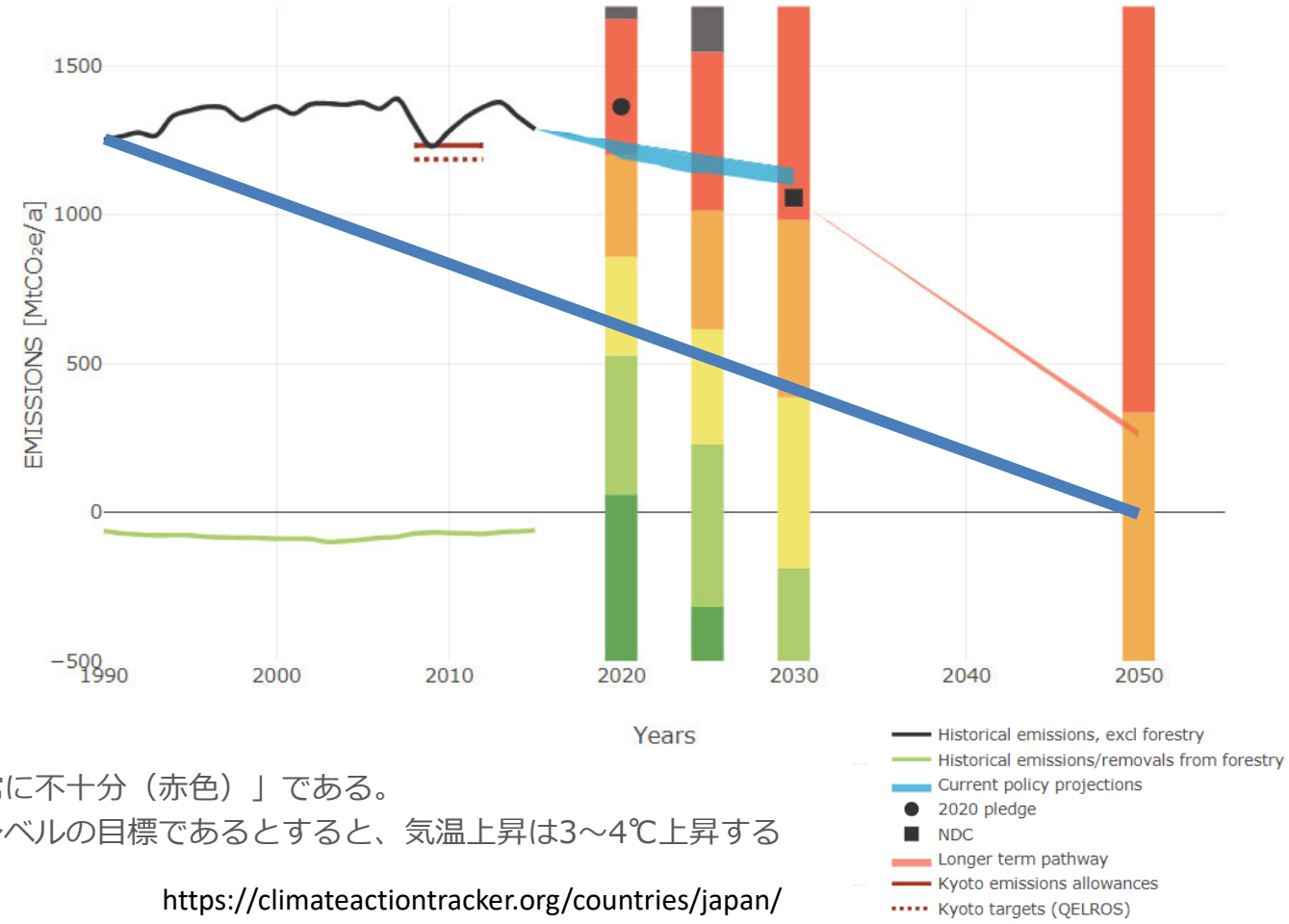
日本のGHG削減目標は不十分



「2020 年目標
2005 年比 3.8%削減
（90 年比 3.1%増加）

2030年目標
2013年比で26%削減
（90年比で18%削減）

2050年目標
80%削減



- 日本の目標は「非常に不十分（赤色）」である。
- すべての国が日本レベルの目標であるとすると、気温上昇は3～4℃上昇する可能性が高い。

https://climateactiontracker.org/countries/japan/

COP25 国連事務総長の開会挨拶より

これからの10年間が終わるころ、私たちは2つの道のどちらかを歩んでいることになるでしょう。

そのうちの1つは、降伏の道です。この場合、私たちは知らず知らずのうちに、後戻りできない地点を通過し、地球上のあらゆるものの健康と安全を脅かすことになります。
私たちは本当に、目と耳をふさぎ、地球が燃えている間に何もしなかった世代として、記憶に残りたいのでしょうか。

もう1つは、希望の道です。
それは決意と、持続可能な解決策の道でもあります。
この道を進めば、さらに多くの化石燃料は本来あるべき場所、すなわち地中に留まり、私たちは2050年にカーボンニュートラルの実現に向けて歩を進めることになります。

世界のいくつかの地域では、石炭火力発電所が今でも多く計画、建設されています。
この石炭中毒をやめなければ、私たちの気候変動対策は間違いなく無駄になるでしょう。

https://www.un.org/sg/en/content/sg/speeches/2019-12-02/remarks-opening-ceremony-of-cop25

国連気候サミットの期間中、日本の石炭火力推進を
批判する環境NGO（ニューヨークにて）

写真：Heather Craig, Survival Media Agency

COP25 スペイン
2度の化石賞受賞

国際NGOが意見広告
フィナンシャルタイムス
2019年12月6日

「私たちは、破滅的な気候危機に立ち向かってレースをしている」

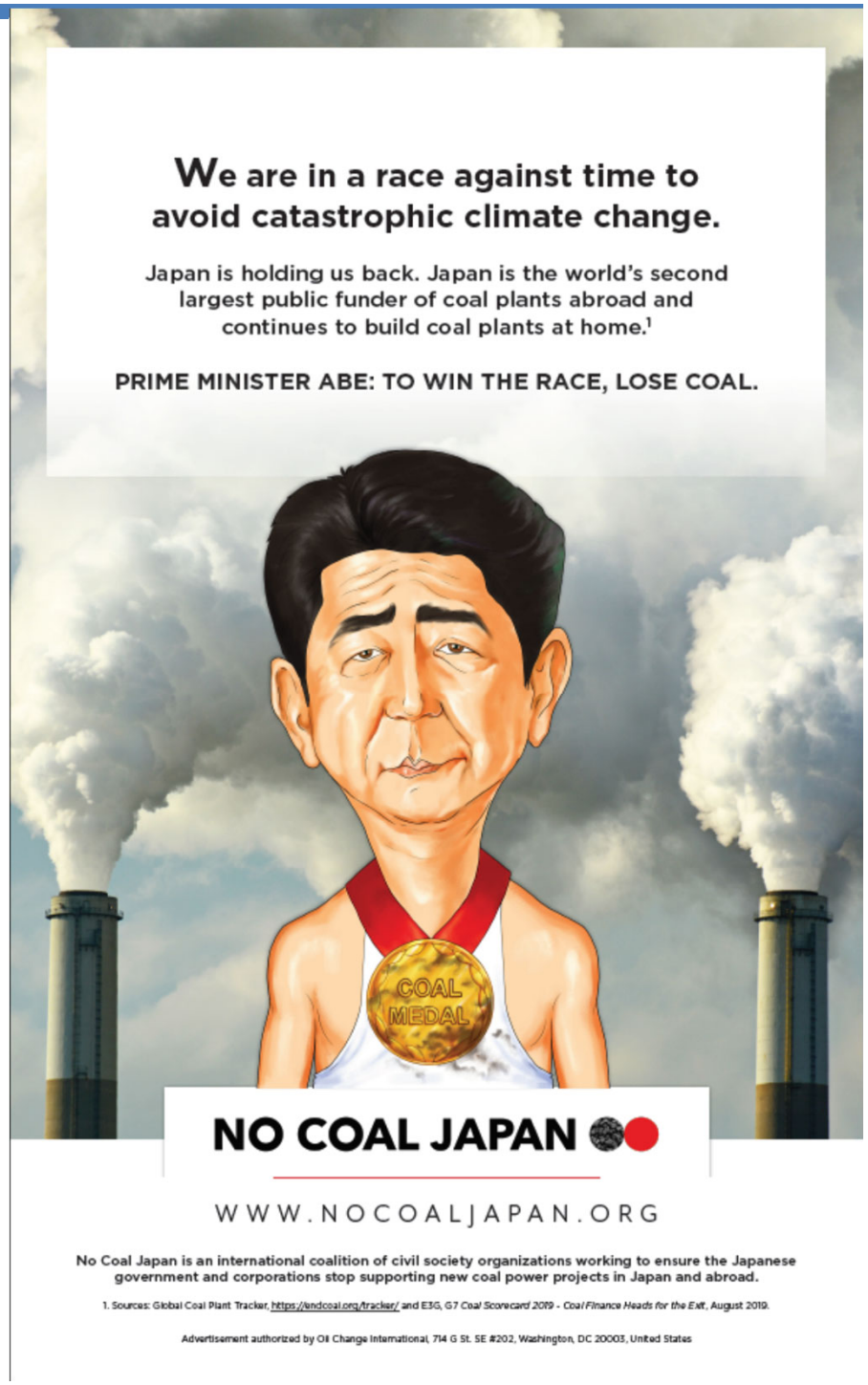
安倍首相に対し、石炭火力発電への支援を止めることで、そのレースを勝ち抜くことを求めている。

Win Gold, Lose Coal

(金メダルを目指し、石炭を打ち負かせ)

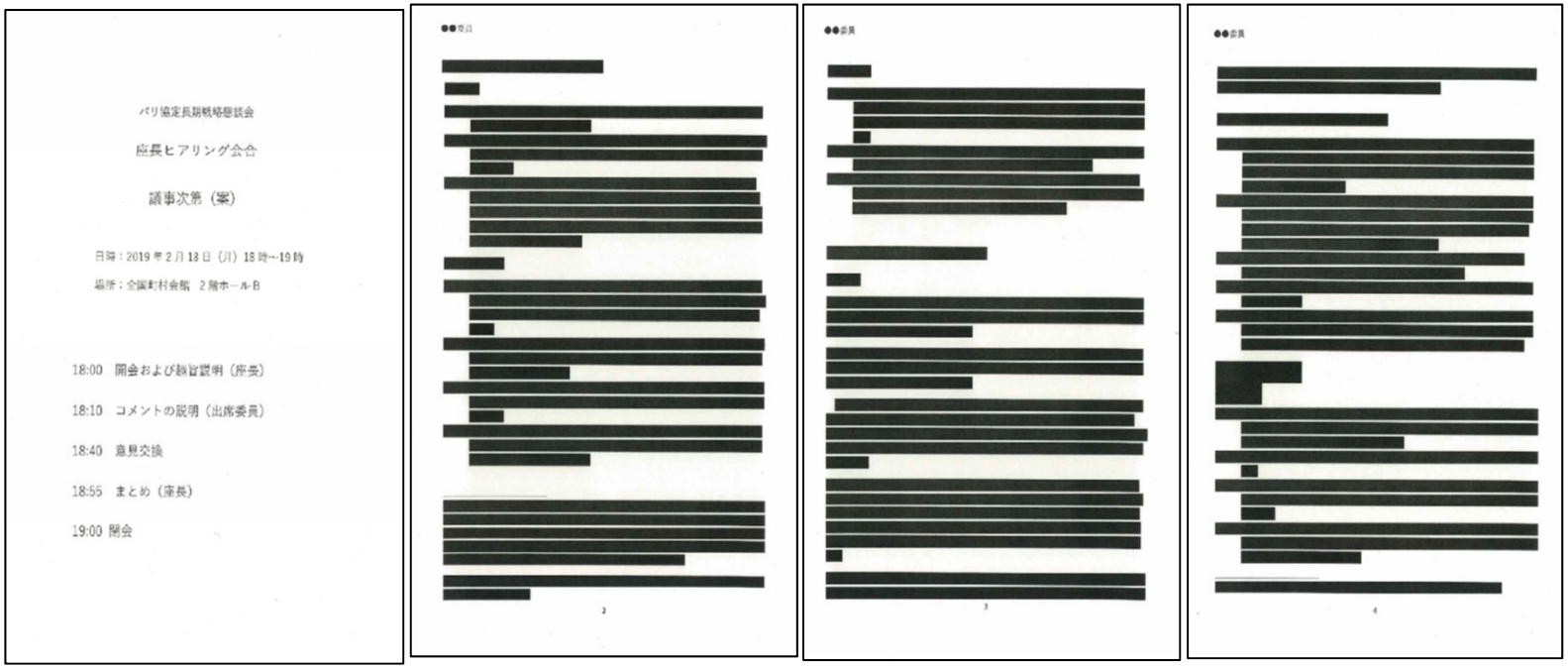
＊NO COAL JAPANは、50団体を超える国際的な環境NGOの連合体

http://www.nocoaljapan.org/ja/http-www-nocoaljapan-org-financial-times-ad-urging-japanese-pm-abe-to-win-gold-lose-coal/



密室の議論・パリ協定長期戦略

「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定に向けた懇談会」
→終盤の議論は非公開。情報開示請求＝委員発言はすべて黒塗り



パリ協定長期戦略懇談会

座長ヒアリング会合

議事次第（案）

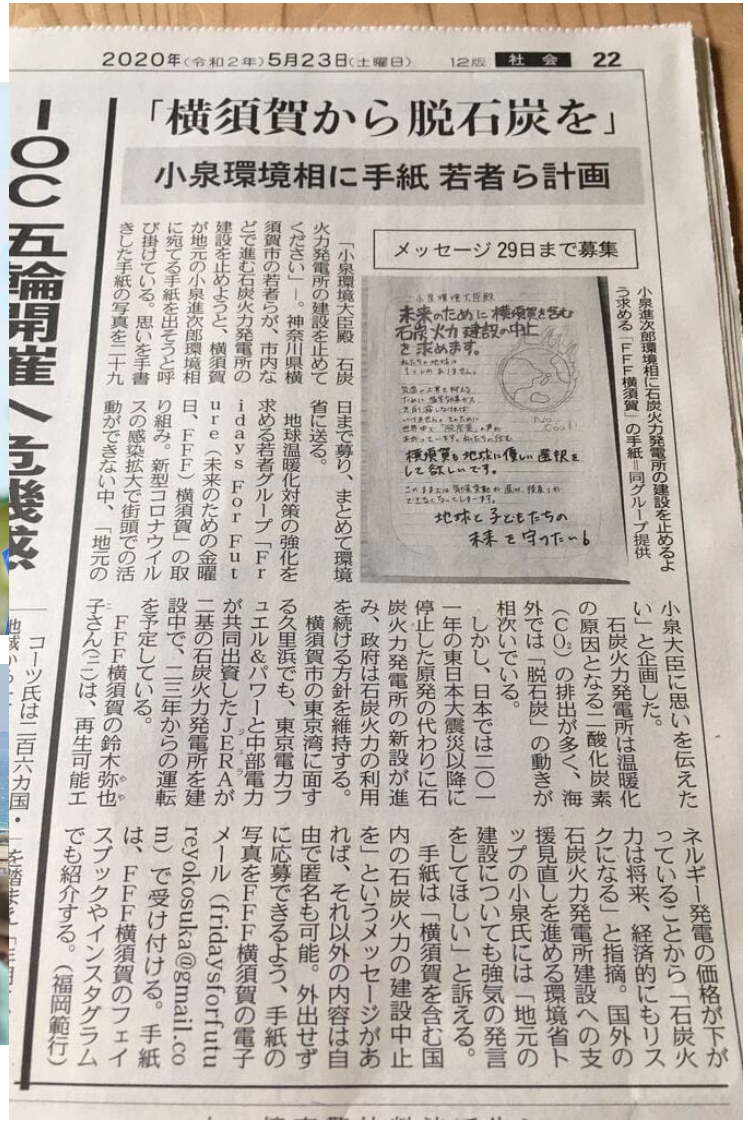
日時：2019年2月18日（月）18時～19時
場所：全国町村会館　2階ホールB

18:00　開会および趣旨説明（座長）
18:10　コメントの説明（出席委員）
18:40　意見交換
18:55　まとめ（座長）
19:00 閉会

＜問題点＞
・エネルギー基本計画と2030年エネルギーミックスの方向性を踏襲。
　再エネ22～24%、原発20～22%、石炭26%、LNG27%、石油3%
・脱石炭を打ち出せず。削減目標の見直しなし。イノベーション頼み。→パリ協定と不整合。

横須賀で立ち上がる学生たち

Fridays For Future Yokosuka 結成。小泉大臣も認識。



2020年（令和2年）5月23日（土曜日） 12版 社会 22

「横須賀から脱石炭を」

小泉環境相に手紙 若者ら計画

メッセージ 29日まで募集

小泉進次郎環境相に石炭火力発電所の建設を止めるよう求める「FFF横須賀」の手紙＝同グループ提供

「小泉環境大臣殿 石炭火力発電所の建設を止めてください」―。神奈川県横須賀市の若者らが、市内などで進む石炭火力発電所の建設を止めようと、横須賀が地元の小泉進次郎環境相に宛てる手紙を出そうと呼び掛けている。思いを手書きした手紙の写真を二十九日まで募り、まとめて環境省に送る。

地球温暖化対策の強化を求める若者グループ「Fridays For Future（未来のための金曜日、FFF）横須賀」の取り組み。新型コロナウイルスの感染拡大で街頭での活動ができない中、「地元の小泉大臣に思いを伝えたい」と企画した。

石炭火力発電所は温暖化の原因となる二酸化炭素（CO_2）の排出が多く、海外では「脱石炭」の動きが相次いでいる。

しかし、日本では二〇一一年の東日本大震災以降に停止した原発の代わりに石炭火力発電所の新設が進み、政府は石炭火力の利用を続ける方針を維持する。

横須賀市の東京湾に面する久里浜でも、東京電力フュエル&パワーと中部電力が共同出資したJERAが二基の石炭火力発電所を建設中で、二三年からの運転を予定している。

FFF横須賀の鈴木弥也子さん（二）は、再生可能エネルギー発電の価格が下がっていることから「石炭火力は将来、経済的にもリスクになる」と指摘。国外の石炭火力発電所建設への支援見直しを進める環境省トップの小泉氏には「地元の建設についても強気の発言をしてほしい」と訴える。

手紙は「横須賀を含む国内の石炭火力の建設中止を」というメッセージがあれば、それ以外の内容は自由で匿名も可能。外出せずに応募できるよう、手紙の写真をFFF横須賀の電子メール（fridaysforfutureyokosuka@gmail.com）で受け付ける。手紙は、FFF横須賀のフェイスブックやインスタグラムでも紹介する。（福岡範行）

IOC五輪開催へ 高橋

ご清聴ありがとうございました。

ご質問・ご意見は気候ネットワーク
東京事務所の桃井までお気軽にお寄せ下さい。

メール：momoi@kikonet.org
電話：03-3263-9210、FAX： 03-3263-9463
URL：http://www.kikonet.org

気候ネットワークは地球温暖化を防ぐために市民の立場から提案×発信×行動するNGO/NPOです。気候ネットワークは多くの方々のご参加・ご支援によって支えられています。どうか、ご支援をよろしくお願いいたします。オンライン寄付・入会ページは次よりアクセスできます。

URL：https://www.kikonet.org/support/individual/member-form